



JMAS 活動報告

2014年12月号

カンボジア及びラオスにおいて実施していた地雷、不発弾処理の3年計画事業が終了し、新事業を開始しました。

<カンボジア北中部州での不発弾処理事業が終了しました>

2014年10月18日をもって、シェムリアップ州とコンポントム州及びポーサット州とコンポンチュナン州における不発弾処理促進事業(3カ年事業の第3期)を終了しました。第3期は合計37,000発の不発弾を処理しています。不発弾処理チームはコンポンチュナンに移動し、次期事業の準備に入ります。



不発弾の識別指導を行う今専門家



不発弾の運搬を指導する野田専門家



危険回避教育を行う今専門家

<ラオスにて3年間にわたり実施した官民連携事業が終了しました>

8月に終了したアッタプー県での事業に続き、2011年6月からラオス南部サラワン県及びチャンパサック県において実施していた不発弾処理事業が2014年11月14日に終了しました。このプロジェクトは、外務省のODA施策「成長加速化のための官民パートナーシップ」の第1号案件として行われたもので、3年間にわたり、深さ2メートルまで不発弾探査を行い、クラスター弾等の不発弾を処理し合計約600haの土地を安全化しました。



不発弾の確認を行う西城専門家



事業終了式で活動写真をご覧になる岸野大使



事業終了式での記念写真



今事業で安全化された土地では薬草栽培が行われ多くの農民の雇用が創出されています。

不発弾処理

カンボジア、ラオス及びパラオの3か国で不発弾処理活動を実施しています。

カンボジア

12月上旬にNGO連携無償資金贈与契約署名式を行い、2014年度「CMAC*に対する不発弾処理に係わる能力構築支援事業」を開始する予定です。本事業では、これまでの現場を中心とした技術移転から、コンポンチュナンにあるCMACトレーニングセンターでの技術移転を中心とする事業へ移行します。技術移転は全国のEODチーム等を対象とし、マネジメントや新しい探査技術教育を予定しており、教官教育も行います。

*CMAC:カンボジア地雷処理センター

(写真は新事業内容のイメージです)



座学授業の様子



野外で不発弾識別技術の試験



金属探知機による探査要領を指導

ラオス

2014年11月12日、在ラオス日本大使館においてNGO連携無償資金贈与契約署名式が行われ、「ラオス不発弾処理機関(UXO Lao)に対する不発弾処理技術移譲及び不発弾訓練センター建替え事業(第1次)」が開始されました。これまでシェンクワン県で5年間、アッタプー県で4年間の技術移譲を実施した集大成として、爆弾のこぎりカット法や不足している基礎知識の教育及び教育内容の改善を通じて不発弾処理を促進させ、ラオス全体の安全な生活環境の確保と開発の促進に寄与していきます。また、老朽化した不発弾訓練センター施設を建て替えて処理要員養成能力を強化して行きます。



大使館での契約署名式



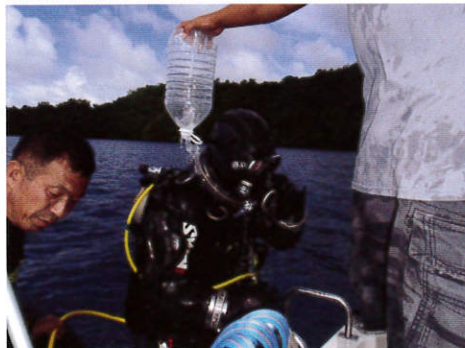
現在の訓練センター外観 (旧難民受入れセンター)

パラオ

海中処理作業に着手した2014年2月から11月までの間、ヘルメットレック(沈船)の船倉内に戦後70年にわたり残置された爆雷の中で、有害物質漏洩防止のため早急に亀裂補修処理が必要な爆雷が77個ありましたが、うち65個の処理が完了しました。また、10月から2015年2月までの予定で、ボランティアによるメディカル支援を受けています。厳しい環境で海中処理を担当する専門家2名の健康チェックも万全となりました。



爆雷補修作業を行う牧専門家



潜水後の潜水器に付着している可能性のある有害物質を水で除染



潜水後のメディカルチェックを受ける牧専門家

地雷処理

カンボジア、アンゴラの2か国で地雷処理活動を実施しています。

カンボジア

2014年9月12日、在カンボジア日本国大使館でNGO連携無償資金贈与契約署名式が行われ、「CMACに対する地雷除去に係わる能力構築支援事業」をバタンバン州バノン郡において開始しました。本事業は、人力処理と機械処理を統合した処理要領を教育するもので、CMAC隊員によるモデルチームを設置し、処理チームを対象とした教育訓練を行います。教育現場では、野外にテントを使った教場を建て、座学を行うとともに、実習も行います。CMACの隊員たちは、読み書きが不自由な隊員に他の隊員が教えたり、JMASの通訳に日本語を習う課外授業をリクエストしたりと、現場での技術修得以外にも意欲を見せ、活気にあふれる事業となっています。



日本大使館における契約署名式



CMACとの協定書署名式



事業終了地にJMAS看板設置



野外教場を構築



CMAC隊員に安全管理教育を実施



安全性を高めるための測遠器の取り扱い教育

アンゴラ

ベンゴ州マブバス地区における第2期事業を、豊田通商、コマツ、住友商事の3社の支援を受けて6月から開始しました。マブバスは内戦時、陸軍が駐屯していたため周囲には防護のための地雷が埋設されています。2014年度はベンゴ州政府から要請された25haの地雷除去を予定していますが、9月までに約12haの地雷処理・安全化が終了しました。4月以前の処理地は、ベンゴ州都カイト市にある政府諸機関の移転地として利用される計画ですが、現在の除去地は住宅建設が予定されています。



処理中の地雷除去機



機械処理後の安全確認作業



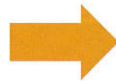
アンゴラ地雷処理会議への参加

地域復興支援等

カンボジア、アンゴラの2か国で地域復興支援を実施しています。

カンボジア — 安全な村づくり事業 Safety Village Construction Project —

2014年4月からカンボジアコミュニティ総合開発プロジェクト「安全な村づくり」(SVC・PJ)の第6期事業がスタートしました。バタンバン州ラタナックモンドル郡トラエンコミュン内のプチュウ村においてコマツの支援を受け、カンボジア地雷処理センター(CMAC)と協同で実施しています。本事業においては、3個事業(①チサン村～リヤースメイサンハー村を結ぶ新設道構築、②リヤースメイサンハー村～ブーロン村への既存道の補修整備、③ブーロン小学校建替え)を実施しており、村民の生活道路の長期安定使用と地域復興、子供たちの教育に大きく貢献することが期待できます。



道路造成に不可欠なカルバート構築現場の様子
雨季の大水に備え壊れない為、基礎部分をしっかり構築する大事な工程

アンゴラ — 地域復興支援 —

コミュニティの地域復興支援活動として、道路整備、水場支援、清掃活動支援などを行い、住民の生活環境の向上をめざしています。



要請に応じ道路の整備中



給水支援、朝の水場の様子



早朝7時に水場へ急ぐ親子



コミュニティの清掃活動



中央花壇の花を植え替える
ローカルスタッフ



日の丸花壇の整備を行う
ローカルスタッフ

トピックス

グローバルフェスタ2014に参加しました

10月3日、4日の両日、東京の日比谷公園で実施された「グローバルフェスタ2014」に参加しました。JMASブースでは、各国での活動写真を展示し、地雷探知機の体験コーナーを設けました。多くの方が訪れJMASの活動を知っていただくことができました。



会場の日比谷公園



JMASの展示ブース



地雷探知機の体験

2014年顧問会議

11月20日、JMAS事務局において2014年度JMAS顧問会議を開催しました。会議では各国における2013年度、及び2014年度事業、準備中のプロジェクト事業について説明および意見交換を行いました。



挨拶を行う荒川理事長



顧問10名、理事8名が参加しました

アンゴラ事業、ラオス事業がテレビ放映されました！

8月のパラオに続き、9月にはアンゴラ、10月にはラオスにおける不発弾問題が取り上げられ、テレビ放映されました。9月22日19時からのテレビ東京「ありえへん世界」で、遠く離れたアンゴラの大地で活動をする、福専門家の様子が放映されました。また、10月27日22時からのテレビ東京「未来世紀ジパング」ではラオスの官民連携事業及びUXO Laoシエンクワン県支部の処理活動と日本の支援の様子が放映されました。



アンゴラで、地雷除去機の撮影



ラオスでの取材の様子



ラオスでの爆破処理も放映されました

— ご支援のお願い —

JMASの活動は、みなさまからのご支援に支えられています。
ご支援、ご協力宜しくお願い致します。

正会員

個人：10,000円/年
法人：1口(50,000円)以上/年

賛助会員

1口(1,000円)以上/年

ご寄付

JMASへのご寄付は税法上の
「寄付金控除」の対象となります

お振込み方法

＜郵便口座へのお振込み＞

口座名：特定非営利活動法人日本地雷処理を支援する会
口座番号：00170-1-13709

＜銀行口座へのお振込み＞

銀行名：三菱東京UFJ銀行
支店名：市ヶ谷支店（店番014）
口座名：特定非営利活動法人日本地雷処理を支援する会
口座番号：普通口座 1320125

＜オンライン寄付サイトからのお振込み＞

オンライン寄付サイトから、クレジットカード、ネット銀行、ペイジーにてご寄付頂けます。



「ギブワン/Give One」サイトアドレス:

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10116>

Just Giving Japan
あなた発のチャリティ・プロジェクト。

「ジャストギビング/Just Giving」サイトアドレス:

<http://justgiving.jp/npo/229>



こんなご支援方法も！



JMAS寄付型自動販売機

☺ インターネット募金サイトからのご支援(無料)

JMASは、gooddo(グッドウ)に参加しています！

gooddoとは、ホームページから簡単に無料で支援することができるインターネット募金サイトです。みなさまのワンクリックがJMASへの募金につながります。1日1回の「応援する」ボタンのクリックをお願いします。



「グッドウ/gooddo」サイトアドレス:

<http://gooddo.jp/gd/group/jmasngo>

☺ 書き損じハガキをお送りください

書き損じはがき郵送用として、返信用封筒をお送り致します。

☺ 寄付型自動販売機の設置ご協力をお願い

JMAS寄付型自動販売機の売り上げの一部は、当会への寄付になります。

- ①設置、置き換えは無料です。
- ②手間や費用は掛かりません。
- ③全国どこでも設置可能です。

※ 詳細に付きましてはお気軽にお問合せ下さい。

認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会 JMAS(ジェームス)

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-18 エムズビル5階

TEL: 03-5228-7820 FAX: 03-5228-7821

E-mail: jmas-hq@jmas-ngo.jp ホームページ: <http://www.jmas-ngo.jp>



www.facebook.com/jmasngo/